

試験日 ： 2025 年 11 月 9 日（日）
入試種別 ： 3 年次編入学・転入学試験 一般入試
学部・研究科： 文学部 真宗学科
科目名 ： 専門科目

解答又は解答例

一

①『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』『仏説阿弥陀経』

②『観経』と『阿弥陀経』には釈尊が浄土への往生行として定善の十三観、散善の三福・九品の行、一心不乱の念仏などの行業や信心を説くが（顕説）、各々の教えは実に密意みつきである弘願の真実へ誘引するための方便の教説であり、『観経』の釈尊微笑の素懐と『阿弥陀経』の無問自説の経意は『無量寿経』の第十八願の利他一心への通入のためと理解した。

二

① 機法一体（きほういったい）：衆生または衆生が領受した信心を機、阿弥陀仏またはその救済のはたらきを法とって、それが一体であることを示した言葉。衆生と仏とは不二であり、衆生の往生と仏の正覚とが一体同時に成就していることを法体の上で論じる場合と、衆生が領受した信心においてたのむ機とたすかる法との一体を論じる場合がある。

② 往生論註（おうじょうろんちゅう）：七高僧の第三祖である、曇鸞大師が著した『無量寿経優婆提舍願生偈註』のことをいう。七高僧の第二祖である天親菩薩の『往生論』の注釈を通じて、『無量寿経』の本願思想や『観経』所説の臨終十念説に基づき浄土往生の実践を勧め、往生並びに仏身仏土論等を空思想の上に位置づけ、独自の浄土教思想を開顕した著作。

③ 雑行（ぞうぎょう）：浄土に往生するための実践で、正行とは「浄土三部経」を代表とする往生浄土を説く經典に説かれている実践行であり、具体的には読誦・観察・礼拝・口称・讃歎供養をいう。雑行とは、この正行を除くすべての実践行のことである。

④ 二種回向（にしゅえこう）：往相回向と還相回向のことをいう。往相とは衆生が浄土に往生することであり、還相とは滅度を証して穢土に還って利他教化のはたらきをするというのが、浄土真宗においては、回向を阿弥陀仏がその徳を衆生に施すこととして捉えるため、往相も還相もともに弥陀の本願力によるものとする。

⑤ 蓮 如 （れんにょ）

本願寺第八代宗主。『御文章』などの巧みな伝道手段などにより、本願寺教団を発展させたとして、「中興の祖」と評されている。